

第 2 次江田島市総合計画 基本計画 部門別計画 ～未来を切り開くまちづくり～ (素案のたたき台)

第 1 章 未来を切り開くまちづくりプロジェクトの設定

第 2 章 『え・た・じ・ま』プロジェクトの展開

平成 26 年 10 月 16 日 (木)

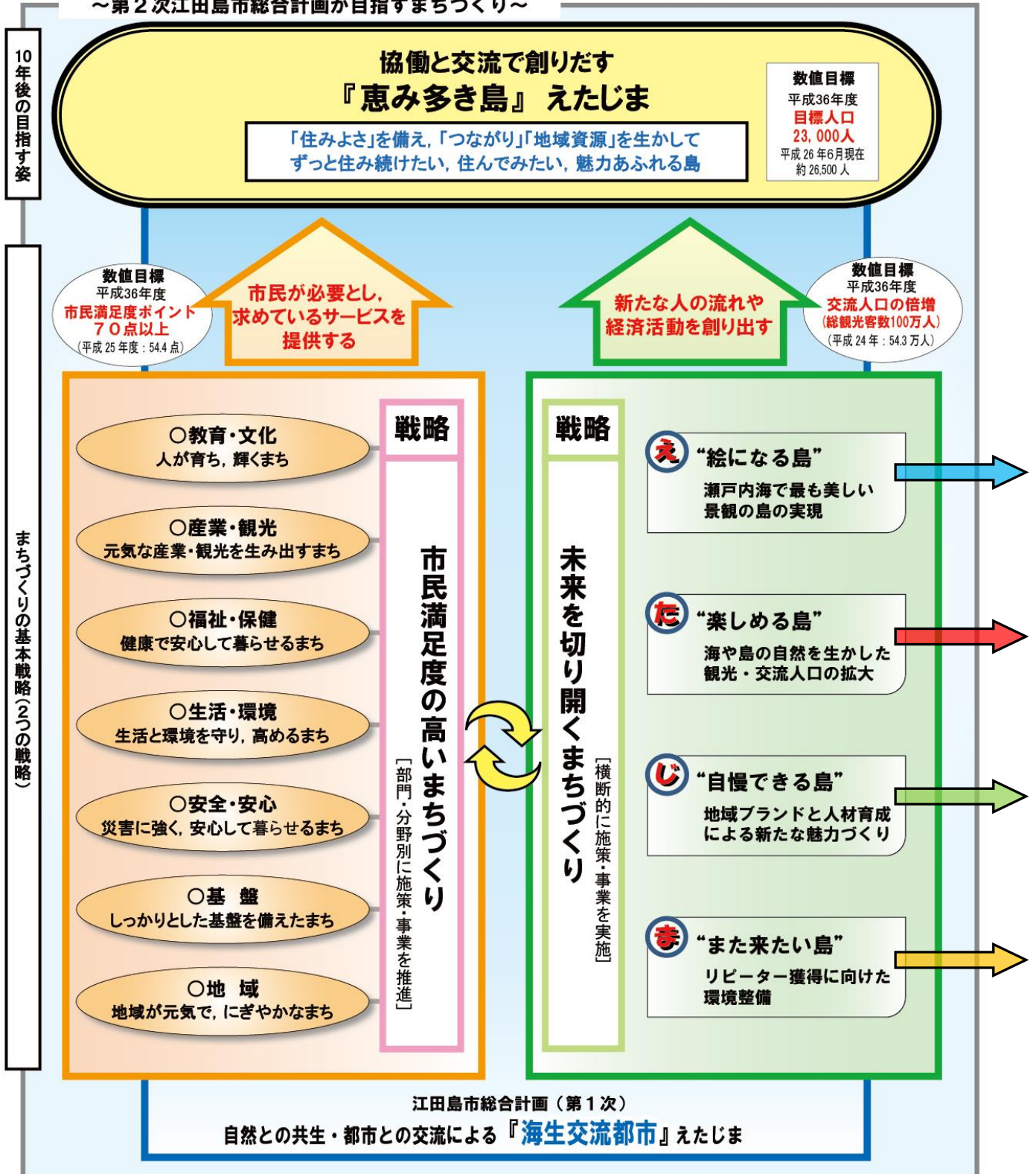
江田島市企画部企画振興課

第1章 未来を切り開くまちづくりプロジェクトの設定

江田島市の10年後の目指す姿「協働と交流で創りだす『恵み多き島』えたじま」の実現に向け、2つの戦略を設定しています。

このうち未来を切り開くまちづくりについては、7つの部門からなる市民満足度の高いまちづくりにおける施策・事業と連動させ、4つの柱である「え・た・じ・ま」に基づいたプロジェクトを設定します。

～第2次江田島市総合計画が目指すまちづくり～



<プロジェクト名>

<プロジェクトの柱(取組の方向)>



え 「絵になる島」づくりプロジェクト

- 1 島の緑の再生・活用
- 2 海と川の美しい環境づくり
- 3 公園緑地の魅力づくりと有効活用
- 4 環境美化・景観づくりに関わる活動の促進



た 「楽しめる島」づくりプロジェクト

- 1 多彩な体験型観光・イベントの展開
- 2 アクティビティの島づくり



じ 「自慢できる島」づくりプロジェクト

- 1 島ならではの教育・スポーツによる人づくり
- 2 えたじまブランドづくり



ま 「また来たい島」づくりプロジェクト

- 1 おもてなしの島づくり
- 2 交通と宿泊施設の充実・強化
- 3 交流・定住の条件整備

第2章 『え・た・じ・ま』プロジェクトの展開

第1節 「絵になる島」づくりプロジェクト

【基本テーマ】

瀬戸内海で最も美しい景観の島の実現

江田島市の最大の地域資源は、美しい海と島の豊かな自然です。この恵まれた自然を次世代に引き継ぎ、さらなる美化に努めることで、瀬戸内ならではの多島美を生かした、市民だけでなく、市外の人にとっても癒やしや安らぎにつながる、瀬戸内海で最も美しい景観の島を目指します。

【プロジェクトの柱（取組の方向）と主な取組】

1 海と川の美しい環境づくり

江田島市の四方を囲む海は、カキ養殖をはじめとした水産業の場であるとともに、歴史文化を培い、環境や景観を特徴づけ、生活する人のみならず、来訪者にとっても大きな魅力となっています。また、江田島市には海だけでなく、小さいながらも河川が幾筋も流れ、水と緑の環境に育まれた貴重な生態系、うるおいのある景観が息づいています。

こうした海や川の環境・景観をより高めていくため、下水道の整備などによって水質の浄化を図るとともに、関係団体等と協力しながら、海浜・海底清掃など海域の浄化に向けて取り組みます。

【主な取組】

- 漁場環境の改善（海域の浄化など） [水産業の振興]
- 合併浄化槽設置の促進 [自然環境の保全]
- 公共下水道の整備 [都市基盤の整備（下水道の整備）]

2 島の緑の再生・活用

江田島市の魅力である景観の美しさは、海や海辺、歴史的建造物などと合わせて、島の山々や斜面地等に開かれた農地の緑も重要な構成要素です。また、山々の緑は、水源のかん養や生物多様性の確保など様々な公益的機能を担い、江田島市を代表するカキ養殖とも密接に関係します。

しかし一方で、森林の保全・管理が十分でない状況や耕作放棄地の拡大がみられます。

このため、関係権利者や市民・関係団体等の協力を得ながら、森林の保全などに努めるとともに、農地の荒廃防止対策やオリーブなどの栽培促進に取り組み、島を彩る緑の景観づくりと地域の活性化を目指します。

【主な取組】

- 森林の保全と防災対策 [農林業の振興]
- オリーブ栽培等の促進 [農林業の振興]
- 農地流動化の促進（農地の荒廃防止対策） [農林業の振興]

※ [] 内は該当する分野（以下同様）

3 公園緑地の魅力づくりと有効活用

江田島市には、街区公園、近隣公園、地区公園、特定地区公園（カントリーパーク）、運動公園などの都市公園とともに、真道山森林公園、砲台山創造の森公園、鹿川水源地公園など自然を生かした多彩な公園緑地もあります。こうした公園は、休息や遊び、レクリエーション、防災など多様な機能を担っていますが、公園によっては利用度に差がみられます。

このため、多くの人々が利用しやすい公園緑地、また、うるおいのある環境・景観などを形づくる公園緑地として、配置や内容の見直しを行いながら、公園緑地の整備・更新や市民参加と協働による管理を進めます。

【主な取組】

- 市民参加型公園管理の推進 [生活基盤の整備（公園緑地の整備）]
- 公園緑地管理・活用計画の策定 [生活基盤の整備（公園緑地の整備）]
- 公園緑地の管理・活用（維持・整備・更新・統廃合） [生活基盤の整備（公園緑地の整備）]

4 環境美化・景観づくりに関わる活動の促進

地域の環境・景観を高めていくには、市民・地域活動団体等の協力・参加が不可欠です。江田島市では環境美化活動や公園の管理などにおいて、市民の力が発揮されており、こうした市民参加の取組をさらに発展させることが期待されます。

このため、市民参加の実績・経験を生かしながら、海辺や公共空間などの美化、森の再生、美しい景観づくりなどに関わるコミュニティ活動、まちづくり団体の支援に取り組みます。

【主な取組】

- コミュニティ活動の支援 [コミュニティの振興]
- まちづくり団体の支援 [コミュニティの振興]
- アダプト活動の支援 [都市基盤の整備（道路の整備）]
- 市民参加型公園管理の推進 [生活基盤の整備（公園緑地の整備）]

参 考

<要検討:職員プロジェクトチームの提案(主な取組)>

●森と緑の再生・活用

- ・登山道・林道・農道の再生
- ・山と海, 都市との交流
- ・マイツリー(植樹)制度 「ひろしまの森づくり県民税」の活用
- ・グリーン・ウォーキング

●耕作放棄地の再生による景観形成

- ・農地の中間的な受け皿となる組織の構築
- ・耕作放棄地を活用したオリーブ等の生産振興及びブランド化
- ・オリーブの島(生産・ブランド・景観)のPR

●きらりと光る海づくり

- ・海の体験ができる清掃活動(カヌーや海辺の生き物調査を体験+清掃活動)
- ・クリーン・キャンペーン in 江田島

●昼夜輝く水辺の形成 又は「川と水辺, 緑の環境の保全・活用」

- ・自然環境美化活動(河川やビオトープの清掃活動)
- ・保全活動による生き物のすみよい環境づくり(ホタルの放流)
- ・生き物観察会の開催

●江田島チャンネル(情報の受発信)→「ま」で記載

<その他:江田島市の計画等>

※江田島市環境基本計画にある取組の基本計画・プロジェクトへの反映の検討

<要検討:市民ワークショップで出された主な取組>

●森と緑に関して

- ・定期清掃
- ・山に登れば広島, 呉, 岩国, 四国が見える眺望(パノラマ, 夕焼け)
- ・山林を体験できる場として活用(放置竹林のたけのこ狩り, 森林浴の森作りなど)
- ・登山道の清掃
- ・体験宿泊+海岸や登山道の清掃(来訪者も参加)(島の自然にありがとうを)
- ・六峰登山が楽しめる, 移動, 手段の整備
- ・陀峯山, 砲台山, 古鷹山の整備
- ・登山道の整備
- ・美しい島(海, 山)景観場所の整備(車道, 山道, 休憩所)

●耕作放棄地に関して

- ・オリーブによる景観づくり
- ・農業をしたい人を対象に, 畑の貸出や専門のサポートや休憩所, 道具もついた畑
- ・空き農地(荒地など)を利用して, ミカン, オリーブ農園をつくる

●海に関して

- ・海岸の清掃
- ・ゴミ箱の設置
- ・体験宿泊+海岸や登山道の清掃(来訪者も参加)(島の自然にありがとうを)
- ・漁協などと協力して, 海・海底をきれいにする
- ・海辺や海, 観光地をきれいにする
- ・美しい島づくり(海, 山, 道路沿いをきれいに保つ。シーズンオフの海が汚い, 山の手入れ)

●水辺に関して

- ・江田島ホタル狩り
- ・ビオトープの維持管理整備

●景観選定に関して

- ・景観百選の制度づくり
- ・市民等の参加による景観百選の選定(ワークショップ, インターネットなど)
- ・景観百選に関わるイベント開催(フォトコンクール, 絵画コンクール, 景観百選めぐりなど)
- ・景観百選の周知・PR(マップ・パンフレット, ホームページなど)
- ・景観百選を生み出したり, 彩ったりする活動の支援(市民等による花の島づくり, 環境美化活動など)
- ・主要な道路及び沿道の景観づくりと名称づけ(例:ひまわりロード, 潮風ロード, …を望む道など)

第2節 「楽しめる島」づくりプロジェクト

【基本テーマ】

海や島の自然を生かした観光・交流人口の拡大

江田島市は、サイクリングやトレッキング、カヌーをはじめとしたマリレジャー、キャンプ、みかん狩りなどの農業・漁業体験などアクティビティの宝庫です。こうした島の魅力を生かして、市内外の人々が集まり、気軽にアクティビティを楽しめる島を目指します。

【プロジェクトの柱（取組の方向）と主な取組】

1 多彩な体験型観光・イベントの展開

有名な名所・旧跡、観光施設などがない地域においても、農山漁村の暮らし体験、創作・ものづくり、スポーツ・レクリエーション、そして地域の人と来訪者の交流など、体験型の観光やイベントなどによって、多くの来訪者が訪れ、地域が活性化している事例が多数あります。江田島市においても、体験型の様々な観光・交流・定住の取組を進めており、さらにニーズ等を踏まえて、メニューの充実・開発が求められます。

このため、江田島市の特色を生かした体験型の観光やイベントのブラッシュアップとともに、新たなメニュー開発に取り組みます。

【主な取組】

- ヒロシマMIKANマラソン大会の開催 [スポーツの振興]
- かきカキマラソン大会の開催 [スポーツの振興]
- 観光イベントの支援 [観光の振興]
- 観光体験メニューの開発推進 [観光の振興]

2 アクティビティの島づくり

江田島市には、自然と文化、食を満喫しながら、サイクリングに親しむことのできる「かきしま海道サイクリングロード」として、多くのサイクリング客が訪れており、本市としてもサイクリングマップの作成やサイクリングロードの整備などに取り組んでいます。また、ヒロシマMIKANマラソン大会、かきカキマラソン大会を毎年開催しているとともに、平成26年には全国からの参加者が、カヌー・自転車・登山を通じてアウトドアスポーツに親しむ「江田島 SEA TO SUMMIT」が開催されました。

こうした取組や経験、そして江田島市の地域資源を生かしながら、多彩なアクティビティを体験できる島として、交流人口の拡大と地域の活性化を図ることが期待できます。また、こうした取組は、市民自らがスポーツなどに親しむこと、来訪者等へのホスピタリティを醸成することにもつながります。

このため、海と山の自然、景観、文化、食などを生かしながら、自転車、カヌー、登山、マラソンなどを気軽に体験できる環境づくりや活動支援の取組を進めます。

【主な取組】

- 多彩なマラソン大会等の開催（ヒロシマMIKAN、かきカキ：再掲） [スポーツの振興]

- サイクルステーションの整備 [観光の振興]
- 観光案内板の整備 [観光の振興]
- カヌー・登山・サイクリングなどアウトドアスポーツの振興 [観光の振興]
- サイクリングロードの整備 [都市基盤の整備(道路の整備)]

参 考

<要検討:職員プロジェクトチームの提案(主な取組)>

●海水浴場の充実

- ・海水浴場の環境美化
- ・長瀬海岸における休憩施設や海上遊具等の整備
- ・長瀬海岸のオールシーズン型活用の検討(イベントの企画, 施設整備)

●食の拠点施設整備

- ・「海の駅」能美海上ロッジやシーサイド温泉のうみと連携させた「道の駅」的な施設整備
- ・シーサイド温泉のうみ横の小山の活用の検討(特色ある公園づくり, 大型遊具の整備など)
- ・カキをはじめとした幸を満喫できる場の提供
- ・食の提供と特産品の販売を連動させる仕組みづくり
- ・地元の食材を使用した食や特産品の開発

●アクティビティの支援

- ・「SEA TO SUMMIT」の継続実施とブランド化(練習コースやレンタル等の環境整備など)
- ・年間を通じて島の自然を体験できる環境整備(カヌーなどのマリンスポーツ, みかん狩り体験, 登山道の整備, 案内板・説明板の整備, さとうみ科学館の活用など)
- ・様々な体験メニュー・イベントの拡充とプログラム化(サイクリング, マリンスポーツ, トレッキング, 農業・漁業体験など)
- ・サイクリングの環境整備(サイクリングロード・コース, 情報, 休憩, 点検・修理など)
- ・アクティビティに関わる情報発信(サイクリングや体験事業等の動画のWeb配信など)

<要検討:市民ワークショップで出された主な取組>

●海水浴・海に関して

- ・海辺や海, 観光地をきれいにする
- ・海水浴場を整備し, 美しい海で子どもたちも呼ぶ
- ・海があるのに泳げない子が多い
- ・カヌー体験ができる場所を増やし, 江田島を海上から見てもらう
- ・海をきれいにし, スワンや海賊船などを浮かべて楽しめるよう

●食の拠点に関して

- ・江田島らしい食づくり
- ・地元の食材を生かした様々な食事の場・食をつくる
- ・江田島版の江田島食材を使用した料理(郷土料理)を自分で作る
- ・釣りの提供→釣った魚を宿泊施設でふるまう
- ・カキ小屋(継続的に実施)
- ・カキ運動会の開催
- ・オリーブを使った料理の提供(レストラン):魚, 猪等のジビエ
- ・観光客が大人数来ても食べれる所
- ・クックパッドのようなもの(江田島版)
- ・複数の新鮮市場(地域ごとに)
- ・道の駅など拠点づくり, 観光情報等を集約できる施設, サロン等接待する場所, 空き店舗を活用して卓球などの遊べる場所づくり

●アクティビティ・体験に関して

- ・カヌー体験者を募集
- ・「MIKAN マラソン」でカヌーのブースづくり(紹介・宣伝)
- ・カヌー体験ができる場所を増やし, 江田島を海上から見てもらう
- ・カヌー+サイクリングでスタンプラリーにして, 集めたら景品が貰えるように
- ・サイクリングをする人の為に, 宿泊施設を作る(自転車を持ち込みできるように)
- ・サイクリングの人たちなどが水分補給などできるトイレを完備した休憩所(自転車の整備も)
- ・サイクリングロード・コースをつくる, わかりやすくする(見所の紹介も)
- ・六峰登山が楽しめる, 移動, 手段の整備 ・登山道の整備
- ・陀峯山, 砲台山, 古鷹山の整備

第3節 「自慢できる島」づくりプロジェクト

【基本テーマ】

地域ブランドと人材育成による新たな魅力づくり

江田島市は、旧海軍兵学校に代表される歴史・文化資産に加え、国内有数の生産量を誇る牡蠣をはじめとした3F（フルーツ・フラワー・フィッシュ）の産地です。こうした資源にオリーブなど新たな取組を組み合わせ、県内外に自慢できるブランドや特産品のある島を目指します。

また、島ならではの特色のある教育や、県内・全国レベルで通用する文化・スポーツ活動を推進することにより、地域に愛着があり、かつ、市民の誇りとなる文化人やスポーツ選手、将来の江田島市を支える人材などを輩出する島を目指します。

【プロジェクトの柱（取組の方向）と主な取組】

1 特色ある教育・スポーツによる人づくり

教育・スポーツは、子どもたちを健やかに育てる大きな役割を担っていると同時に、生涯にわたって学び、スポーツに親しむことは、一人ひとりの心や体の健康をはぐくんだり、コミュニティを活性化したりすることになります。さらに、特色ある教育やスポーツの環境を築いていくことは、交流・定住の条件や魅力を高めることにもつながります。

このため、島ならではの特色・資源を見だし、生かしながら、市への愛着を育むとともに、江田島市の学校に通いたい、活動に参加したいと思えるような、学校教育、生涯学習及びスポーツの振興に取り組みます。

【主な取組】

- 体験活動の推進 [学校教育の充実]
- 国際教育の推進 [学校教育の充実]
- 公民館学習支援や交流機会の提供 [生涯学習の充実]
- 優れた文化・伝統文化の保存・継承の推進 [生涯学習の充実]
- 市民スポーツの振興 [スポーツの振興]
- スポーツ施設の整備 [スポーツの振興]

2 えたじまブランドづくり

江田島市には、様々な食材や料理、特産品がありますが、まだまだそれらの活用・PRの余地はあり、現在ある特産品等のブラッシュアップと新たな食や特産品づくり、そのブランド化によるPRは、「自慢できる島」にとって不可欠といえます。

このため、江田島市において生産・漁獲される一次産品のブランド化、及び6次産業化等による特産品づくりとブランド化、島ならではの食・料理づくりの促進とともに、特産品等の流通・販売体制の強化などに取り組みます。

【主な取組】

- 評判の高い産地づくり [農林業の振興]

- 出荷体制の強化，直売施設の整備 [農林業の振興]
- オリーブ栽培等の振興（再掲） [農林業の振興]
- 特産品づくりの促進 [水産業の振興]
- 流通・販売体制の強化 [水産業の振興]

参 考

<要検討:職員プロジェクトチームの提案（主な取組）>

●マイスターパスポート事業 又は「マイスター等の確保・活用と体験機会の確保」

- ・行事参加・施設利用・文化活動・スポーツ活動等に対してポイントを付与するパスポート帳を発行し，一定ポイントに達すると表彰，スタンプラリー的要素も取り入れ市民だけでなく来訪者も活用)

●地域を知り，深める取組と人づくり

- ・ふるさと楽習（ふるさとについて，楽しく学ぶ機会を確保）
- ・となりまち民泊～MY企画チャレンジ～（ふるさとについて学んだ成果をもとに，子どもたちが地域資源を生かした体験学習を企画・実施 [支援]，となりまち（江田島市内）での民泊体験）
- ・成果の取りまとめ・発表と情報発信

●ブランドづくり

- ・特産品・料理コンテスト
- ・ブランド認定
- ・ロゴマーク公募
- ・江田島ブランド等の情報発信・PR

<要検討:市民ワークショップで出された主な取組>

●マイスター等に関して

- ・アーティスト・イン・レジデンス（芸術家に滞在してもらう）
- ・空き缶で絵をつくる
- ・フレームアート（自然が資源）
- ・芸術家の集う地域づくり（若いIターンの芸術家がたくさん居る）

●人づくりに関して

- ・世代間交流知識の継承

●ブランドづくりに関して

- ・おみやげ（特産物）のNO1を決めるイベント
- ・学生に受けるおみやげ開発
- ・おみやげ・特産品を宅急便で送りやすいように（サイクリング客など）
- ・my みそ，my 醤油づくり
- ・海外市場を狙った製品づくり（カキ殻粉末）
- ・カキ販売所がわかりにくい
- ・カキの殻やミカン皮を使った物をアピール
- ・特産品を作って，実習体験する
- ・魚の干し物，さより，野菜（ドライ） ・メバルのブランド化
- ・みかん等の柑橘類（ジュース） ・ドライフルーツ（イチジク，トマト）
- ・地元の土や植物を使った陶器
- ・竹炭製品（紙布+竹炭，3F+竹など）
- ・他地域との連携で新製品開発（産業振興・観光推進課）

<その他>

- ・多様なマイスターの把握・確保と活用（江田島版マイスター制度の創設:生業や特産品づくり，生活の知恵などの知識・技術等を有する人の認定や育成，活用）
- ・アートを生かしたまちづくり（芸術家等との交流，市民がアートに親しむ環境づくりなど）

第4節 「また来たい島」づくりプロジェクト

【基本テーマ】

リピーター獲得に向けた環境整備

新たな人の流れを大きくするには、本市へのリピーターを増やしていく必要があります。来島者へのホスピタリティ（おもてなし）の向上に加え、島の魅力を生かしたイベント開催や交流施設の充実、2地域居住の推進などにより、四季を通じて、繰り返し訪れてもらえる島を目指すとともに、住んでみたいと思ってもらえる島を目指します。

【プロジェクトの柱（取組の方向）と主な取組】

1 おもてなしの島づくり

来訪者が、訪れた地域により印象を持ち、また来たいと思いを抱くには、アクセスの段階を含め、訪れた場におけるおもてなし、人との交流のあり方、情報提供などが大きく影響します。

このため、リピーターを増やすような観光ボランティアの養成を行うとともに、おもてなしの視点を大切にしながら、直売施設の整備、観光体験メニューの開発、交流活動の開催、情報の受発信などに取り組みます。

【主な取組】

- 出荷体制の強化、直売施設の整備（再掲） [農林業の振興]
- 観光ボランティアの養成 [観光の振興]
- 観光体験メニューの開発推進（再掲） [観光の振興]
- 交流・定住推進活動の支援 [都市との交流・定住の促進]
- ※情報発信に関する取組の検討（HP、パンフ、SNSの活用など）

2 交通と宿泊施設の充実

江田島市への来訪者を増やしていくためには、観光・交流資源の魅力づくりやおもてなしなどと合わせて、移動や滞在の基礎的な条件となる交通機関と宿泊施設の充実が求められます。また、宿泊施設については、それ自体が観光客を吸引するような魅力を持つことが期待されます。江田島市には、海の上に建つという特色を持つ国民宿舎・能美海上ロッジがありますが、建設から40年以上が経過し、老朽化が進むとともに、宿泊客数は停滞傾向にあります。

このため、航路やバス路線等の維持・確保を図るとともに、市内の宿泊機能のあり方について検討整理し、来訪者の増加に向けた取組を行います。

【主な取組】

- 生活航路の維持・確保 [生活交通の確保・充実]
- 生活交通路線の維持 [生活交通の確保・充実]
- 広域生活交通路線の確保 [生活交通の確保・充実]
- 宿泊施設のあり方検討 [観光の振興]

3 交流・定住の条件整備

江田島市へのリピーターを増やすことは、観光客数を増加させることが第一義的な目標ですが、さらに、リピーターなどの中から、定住者を確保することも重要な課題です。

このため、交流・定住の促進に向けた暮らし体験、居住支援に取り組むとともに、リピーターを増やす視点も取り入れながら、観光体験メニューの開発を進めます。

【主な取組】

- 観光体験メニューの開発推進（再掲） [観光の振興]
- 暮らし体験の促進 [都市との交流・定住の促進]
- 定住促進のための居住支援（費用補助） [都市との交流・定住の促進]

参考：その1

<要検討:職員プロジェクトチームの提案(主な取組)>

●おさかなセンターの整備

- ・能美海上ロッジと連携した施設整備
- ・海産物・特産品・お土産品を購入できるコーナー
- ・近くに釣りのできる環境づくり
- ・レストラン(通常メニューに加え、釣った魚や購入した魚を調理してもらえる・持ち帰り用に下ごしらえをしてもらえる)
- ・釣った魚を自ら調理し、食べられるコーナー

●宿泊施設おもてなし強化事業

- ・能美海上ロッジの大規模な改修
- ・江田島市産の食材、季節感に徹底的にこだわった食事内容の見直し
- ・旅行会社と連携した観光客にとって魅力あるプランづくり
- ・旧海軍兵学校などをイメージする空間やサービスの検討
- ・介護予防事業と連携した取組の検討(宿泊施設内での体操、交流、買い物ツアーなど、市民はもちろん来訪者の利用も可能なサービス)

●船舶のカスタマイズ(おもてなし)

- ・船体のデザイン化の検討(旧海軍兵学校を想起させるラッピング・塗装・船内艙装、オリジナルキャラクターの登用など)
- ・土日祝日限定で船員の着用制服・船内放送の変更の検討
- ・江田島市内の宿泊施設と連携した運賃サービス(セット割引の設定など)

●江田島チャンネル

- ・島の魅力を伝えるホームページの作成(コンテンツの工夫)
- ・SNSの活用(関係者のFacebook、ブログを利用してイベント情報などを発信)

<要検討:市民ワークショップで出された主な取組>

●宿泊・交流施設等に関して

- ・宿泊施設:学校跡地などを活用した宿泊の場、江田島青年の家の活用
- ・温泉施設:温泉施設の整備、家族で使える日の設定、能美海上ロッジ修繕・美化
- ・飲食施設:施設をある程度まとめる(温泉+食事など)、特産品を使った食事の提供施設(カキ小屋の常時設置など)、見晴らしの良いところに食事処、美味しい食事が出来る場所、飲食店は休みが不定期(各町でいつでも行ける所)、B級グルメづくり等
- ・道の駅など:道の駅など拠点づくり、観光情報等を集約できる施設、サロン等接待する場所、空き店舗を活用して卓球などの遊べる場所づくり

●おもてなしに関して

- ・島の案内人(ガイド)の育成
- ・フェリーの船員等が観光ガイドを兼ねる

●地域資源のネットワークに関して

- ・観光ルートの案内(時間と何本かのルート)
- ・島内の循環型バス(見所めぐり)
- ・ヘルスツーリズム(ルート、支援体制づくり)
- ・アクセス(船など)
- ・道路の整備
- ・旧海軍兵学校とタイアップした企画
- ・ツアーパックを作る
- ・瀬戸内海クルーズ(広域観光)の拠点の一つにする
- ・主要な道路及び沿道の景観づくりと名称づけ(例:ひまわりロード、潮風ロード、を望む道など)

●情報提供に関して

- ・啓蒙活動(宣伝)
- ・食べる所の紹介など(お店がわからない)
- ・江田島の案内誌の発行、出した物のまとめ
- ・農業、漁業の窓口を広く(知ってもらおう)
- ・江田島市は近いということをPR
- ・江田島市のHPの活用(サイクリング、体験ツアー等のPR)
- ・みかん狩りのシーズン等、江田島をアピール
- ・江田島のキャラクター作成等
- ・島内のお店情報がわからない(店休日、場所…)
- ・情報を聞く場所がわからない
- ・船にパンフレットがない
- ・看板、案内板がない
- ・棧橋や船にチラシは貼ってあるが、使わない人は見ることがない(家族連れは車で呉経由)
- ・観光客向けのパンフレットを作成(今のパンフレットは情報の羅列で住民用にしかない)
- ・観光案内ガイド本の作成(観光場所、食事処、交通の便など)
- ・観光マップにグルメ情報やサイクリスト用の傾斜なども記載
- ・市のHPにもっと観光情報を載せる
- ・南区の小学校などにも情報を提供し、誘客を

<その他>

- ・市民のホスピタリティの醸成(研修・学習機会の確保など)
- ・多様な周遊コースの設定(興味、目的、滞在時間、体力、移動手段などを考慮したコース)
- ・情報提供の場の拡充(パンフレット等の設置、情報を提供できる人材育成など)